

社會問題綱要	河田朝郎著	四・五〇	・二七	國際經濟總論	堀江歸一著	三・三〇	・二六
生存競争の哲學	賀川豊彦著	二・〇〇	・二二	國際經濟と國民經濟	堀江歸一著	二・五〇	・二六
文學と革命	佐藤天来著	二・〇〇	・二〇	續國際經濟と國民經濟	堀江歸一著	二・五〇	・二二
民衆の苦悶	森戸辰男著	一・三〇	・二六	貨幣・銀行・外國爲替(上)	堀江歸一著	三・〇〇	・二六
青年學徒に訴ふ	森戸辰男著	・三〇	・二四	貨幣・銀行・外國爲替(下)	堀江歸一著	四・〇〇	・三〇
學生と政治	森戸辰男著	・三五	・二四	金貨本位制の興廢	堀江歸一著	一・〇〇	・一八
思想と闘争	森戸辰男著	二・〇〇	・二四	英國預金銀行論	堀江歸一著	一・〇〇	・一八
女工哀史	細井和喜著	二・〇〇	・二〇	中世寺院法と經濟思想	山口正太郎著	一・五〇	・二〇
石油帝國主義	猪俣津南雄著	一・五〇	・二〇	階級及第三史觀	高田保馬著	二・八〇	・二四
帝國主義研究	黒正巖著	一・〇〇	・二八	近世商業史	野村兼太郎著	三・〇〇	・二六
封建社會統制と闘争	黒正巖著	三・五〇	・三〇	明治維新經濟史	猪谷善一著	二・五〇	・二六
經濟學批判のために	福本和夫著	一・〇〇	・二八	經濟學原理(四冊)	マーシャル原著	一・〇〇	・二四
唯物史觀のために	福本和夫著	一・〇〇	・二八	唯物史觀の再吟味	福田徳三著	二・五〇	・二六
近世封建社會の研究	本庄榮治郎著	二・〇〇	・二二	野田大労働争議	松岡駒吉著	一・〇〇	・一八
日本社會史	本庄榮治郎著	二・五〇	・二四	日本社會經濟編年史	吉田英雄著	八・〇〇	・二七
日本財政史	本庄榮治郎著	二・五〇	・二四	英國資本主義成立史	野村兼太郎著	四・五〇	・二七
日本經濟史	持地六三郎著	二・八〇	・二四	大眾時代の解剖	室伏高信著	一・〇〇	・二六

哲學・宗教・科學

智能力心理學	松本亦太郎著	九・〇〇	・三六	老子の研究	竹内義雄著	三・五〇	・二八
カントの民族心理學	桑田芳藏著	三・五〇	・二四	遺傳學概論	長尾正人著	一・八〇	・二〇
リッケルトの歴史哲學	朝永三十郎著	一・五〇	・二八	婦人の健康の爲に	樋口繁次著	一・〇〇	・一八
新カント派の歴史哲學	末田庄太郎著	四・七〇	・二六	近代物理學概觀	佐藤・庄司共著	三・〇〇	・二四
デュルケムの經濟哲學	飯垣廣穂著	一・五〇	・二八	電子説から見た世界	中澤臨川著	一・八〇	・一八
生の哲學	恒藤恭著	三・〇〇	・二〇	實踐哲學研究	錦田義富著	五・〇〇	・二七
藝術の哲學	小川清著	二・〇〇	・二〇	經濟哲學	鳥野三郎著	二・五〇	・二四
日本道徳論	植田壽藏著	二・七〇	・二四	苦悶の象徴	厨川白村著	一・八〇	・二〇
現代教育哲學の根本問題	清原貞雄著	四・五〇	・三〇	愛する人々へ	有島武郎著	三・〇〇	・二四
體験宗教の研究	長田新著	三・〇〇	・二四	近代文明と藝術	吉江喬松著	二・〇〇	・二〇
自體と我	佐藤繁著	二・〇〇	・二〇	文學管見	里見弴著	一・二〇	・二六
物理學と認識	辻本誠著	二・八〇	・二二	文學論鈔	阿部次郎著	二・二〇	・二〇
學校兒童心理學	桑木茂雄著	一・五〇	・一八	當代の思潮及文學	井曙夢著	四・八〇	・三〇
無産階級の哲學	關寛之著	二・七〇	・二二	近代的戀愛觀	厨川白村著	二・五〇	・二二
哲學思想の史的考察	山本義典著	二・五〇	・二二	吉利支丹文學抄	村岡典嗣著	三・五〇	・二八
先立ちて来るもの	大石信著	一・五〇	・一六	文學に志す人へ	武者小路實篤著	一・三〇	・一八
王國	室伏高信著	一・五〇	・一八	ロマンチク時代	太宰施門著	二・〇〇	・二〇
考註切支丹鮮血遺書	松崎實編	三・五〇	・二八	戀愛價值論	石原純著	一・六〇	・二八

569
142

5

9
R